

売上傳票を登録するために

売上傳票を登録するためには、最低限登録しなければならない情報があります。

売上傳票番号

売上傳票番号は、自分で登録する必要はありません。自動で設定されます。

売上傳票番号の採番タイミングについては、「システム処理」→「システム設定」より、伝票カテゴリの採番タイミング設定を設定することで変更が可能です。

伝票日付

伝票日付は伝票が様々な計算を行う上で重要な項目です。

自動で入力当日の日付が登録されますが、後にも記載しますがカレンダーからも登録が可能です。

得意先

得意先は「マスタメンテナンス」→「得意先登録」より予め設定しておくのが好ましいですが、本システムでは売上傳票から「得意先登録」を行うことも可能です。

伝票区分

掛け売り・現金売りの選択は請求に大きく影響します。

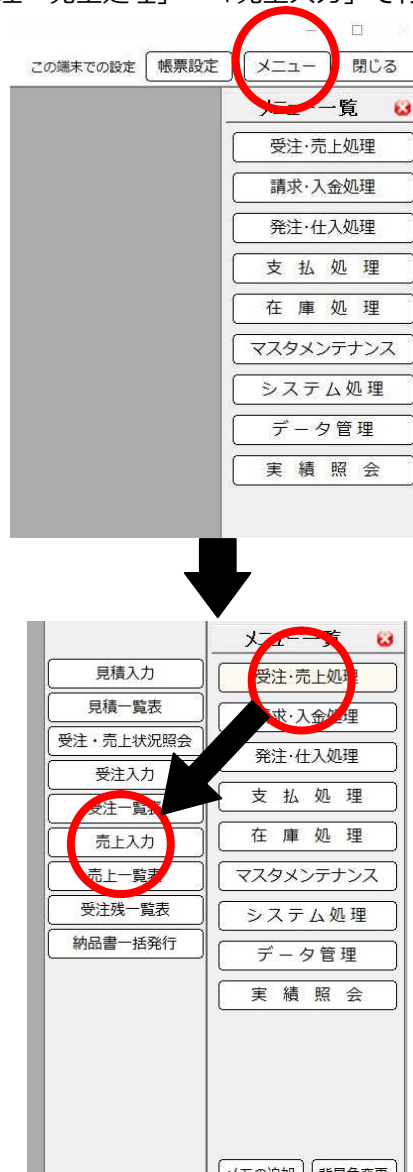
初期設定は、得意先台帳に設定された内容が優先されます。

伝票明細

当システムは、0円伝票は登録が出来ますが、明細行がない伝票は伝票として登録することが出来ません。

売上入力をするには

売上入力は、メニュー一覧より「受注・売上処理」→「売上入力」で行えます。



売上入力初期画面

ファンクションボタン

売上入力を行う前の画面では、以下のようなボタンが利用できます

F1	F2	F3 売上検索	F4	F5	F6	F7	F8	F9	F10	F11 設定	F12 終了
売上入力											
入力者 販売管理 管理者 最終更新											

- F3：売上検索 登録されている売上傳票を、検索する画面を表示します
- F11：設定 売上入力画面での動作・表示、機能の制限を設定します
- F12：終了 売上入力画面を閉じます

売上検索

売上検索

得意先名 <input type="text"/>	が含まれている	得意先CD <input type="text"/>	~ <input type="text"/>		
売上日 <input type="text"/>	~ <input type="text"/>	入力者 <input type="text"/>			
売上No <input type="text"/>	~ <input type="text"/>	並び順 <input type="text"/>			

No	売上No	売上日	得意先CD	得意先名	納品先名	売上金額	入力者

得意先名の一部名称を入力して下さい。

売上傳票の検索を行います

検索で利用できる項目は、

- ・得意先名
- ・得意先 CD
- ・売上日（伝票日付）
- ・売上 No（伝票番号）
- ・入力者

です。これらは、複合で検索することも可能です。

得意先 CD、売上日（伝票日付）、売上 No（伝票番号）は範囲指定が可能であり、

左枠が開始値、右枠が終了値となっています。全ての項目において、空白指定は全検索扱いとなります。

並び順は検索結果の並び順で、売上が新しい順・売上が古い順から選択が出来ます。

各項目にカーソルがある時点で F3 検索を行うことが出来ます。

F4 表示で指定した検索範囲に基づいて結果を検索結果表示欄に表示します。

設定



売上入力における動作と表示の設定を行います

画面内チェックボックス、他各項目の意味は以下の通りです。

入力：カーソルキーの移動をエンターキー等でカーソル移動を許可します。

チェックが入っていない場合はその項目をスキップします。

マウスカーソルでクリックして直接入力をすることは可能です。

表示：画面内に項目を表示するかを選択します。

選択されなかった場合は表示されません。

間隔の項目で、空白という文字が初期値で入っている項目は、非表示の場合の表現を選択出来ます。

空白：項目名が消えますが、枠は残ります。

なし：項目自体が消え、枠は詰められます。

項目にデータが入っている伝票がある状態で表示を消した場合、項目表示が無くなるので表示されませんが、データ自体は消えることはありません。

表示チェックボックスを有効にすることで、再度登録されていたデータは表示されます。

処理設定：伝票区分の初期設定を、掛け売り・現金売りから設定します。

幅：それぞれの項目表示の幅を設定します。

0が予め設定されている項目は変更することは出来ません。

初期設定されている数値は画面内に納まる数値が設定されています。

画面以上の大きさを設定された場合は伝票画面を引き延ばさず、横スクロールバーが表示されます。

画面の表示調整を行わない関係から、画面枠を横へ引き延ばしても売上入力画面は拡張されません。

売上入力

伝票ヘッダー部

伝票明細部

売上の登録・修正・削除をおこないます

伝票ヘッダー部

伝票ヘッダー部は、伝票日付・伝票区分・得意先・納品書が設定されていないと明細行の登録が出来ません。

売上No

売上伝票の伝票番号が表示されます

この項目にカーソルがある状態では、

F3：売上検索 すでに登録されている売上伝票を検索して表示することが出来ますが利用可能です。直接売上伝票番号を入力しても呼び出すことも可能です。

呼び出された伝票が表示されている時、

F4：伝票コピー 表示されている伝票を、売上 No・売上日付以外をコピーします

F9：削除 表示されている伝票を削除します

が利用可能となります。

新規に登録する場合は、何も入力しないで Enter キーで次の項目に進みます。

伝票番号の新規登録方法は、「システム処理」→「システム設定」から伝票カテゴリにある、伝票番号の採番方法を指定します。初期設定は、登録時設定です。

売上日付

登録する伝票の日付を設定します

新規登録の状態ではカーソルがこの項目に移動した時、入力当日の日付を自動で表示します。

別の日付を選択したい場合は、西暦表示になっている数値を変更するか、項目右の

売上日付 20190617 

赤丸部分をクリックすることで、カレンダーからの日付選択が出来ます。

登録済みの伝票を表示した場合は、登録された日付を表示します。

売上日付は、伝票を何日付で登録するか利用するため、入力内容によっては

最終更新 2019/06/17 20:58:21

売上入力画面右上に表示される、最終更新の日付と異なる場合があります。

受注No

登録する売上が参照している受注入力で登録された伝票の伝票番号です

新規参照の場合、カーソルがこの項目にあるとき

F3：受注検索 受注入力に登録された受注伝票を検索します

から受注入力で登録されている伝票を検索することも可能です。

直接受注入力で登録された伝票番号を入力することで呼び出すことも出来ます。

見積伝票番号を参照している場合は、同時に受注伝票を参照することは出来ません。

見積No

登録する売上が参照している見積入力で登録された伝票の伝票番号です

新規参照の場合、カーソルがこの項目にあるとき

F3：見積検索 見積入力に登録された見積伝票を検索します

から見積入力で登録されている伝票を検索することも可能です。

直接見積入力で登録された伝票番号を入力することで呼び出すことも出来ます。

受注伝票番号を参照している場合は、同時に見積伝票を参照することは出来ません。

伝票区分

登録する売上の伝票取り扱いを設定します

設定は、掛け売り と 現金売り の二つです。

初期設定は、得意先マスタに登録された得意先の設定に依存します。

掛け売りの設定である場合は、得意先登録の回収月設定に基づいて初期値を表示します。

掛け売り、現金売りに関わらず初期設定から変更することは可能です。

得意先

F1 登録	F2 納品書	F3 得意先検索	F4 得意先登録	F5
-------	--------	----------	----------	----

売上No	売上日付	2019/06/18
得意先		

売上入力を行う得意先を指定します

基本は予め得意先マスタに登録されている得意先を利用します。

登録されている得意先を利用する場合は、

F3：得意先検索 得意先登録に登録されている得意先を検索します。

から得意先検索を行うか、直接得意先 CD を入力することで呼び出します。

本システムでは、売上入力の際に得意先登録画面から、新規得意先登録を併せて行うことができます。

新規登録の場合は、

F4：得意先登録 得意先登録は「マスタメンテナンス」→「得意先登録」参照

を選択します。

先方担当

先方担当	海豹
	白熊
	白熊 2
	海豹

得意先マスタに登録されている先方担当者を指定します

得意先が指定されている状態で、得意先マスタに先方担当者が登録されている場合、先方担当者を選択することができます。

得意先が指定されている状態で、登録されていない担当者名を入力し伝票を登録した場合は、新規担当者として得意先に追加登録されます。

先方発注No

発注番号を利用する場合に入力します

伝票発行時に発注番号を印刷する必要がある場合に、この項目を利用します。

売上担当

売上伝票に登録する売上担当者を指定します

売上担当者は、左の枠にカーソルがある場合は直接コード入力か

F3：担当者検索 「システム処理」→「ユーザー登録」に登録されているユーザーを検索します

が利用でき、右の項目にカーソルがある場合は直接入力が出ます。

納品先

納品先	太平洋沿岸部
10 売上	太平洋沿岸部
	倉 日本海沿岸部
1 売上	北極海中央

伝票内容を納める納品先を指定します

納品先は、得意先に対して個々に紐付いた形で管理されています。

新規で入力・登録をした場合、自動で得意先に対しての納品先が登録されます。

この納品先は、「マスタメンテナンス」→「納品先登録」で確認・メンテナンスが可能です。

売上入力時より前に、指定した得意先に対して納品先を登録している場合は、登録されている納品先をプルダウンで選択することが出来ます。

納品書

納品書印刷に利用する納品書形式を指定します

予め登録されている納品書形式からの選択が可能です。

納品書	MBN4-3
租利	MBN4-3
受注数	MBN10-2
10 1,500	MBN10-4

現在選択出来るのは、

MBN4-3

MBN10-2

MBN10-4

の3種類です。

伝票明細部

伝票ヘッダー部に記載されている内容について、登録・表示します。

No (明細行No)

売上傳票の明細番号です

番号自体を任意に変更したり、飛ばしたりすることは出来ません。

伝票明細行は最大9999行まで登録することが出来ます。

売上区分

区分	
1	売上
2	良品返品
	不良返品
	商品値引
	伝票値引

入力する明細行の取り扱い区分を設定します

基本は売上に設定されていますが、状況に応じて区分をプルダウンから変更できます。

返品、値引きについての動作は以下の通りです。

良品返品	額面金額を売上から減算し、商品在庫を数量分増加します
不良返品	額面金額を売上から減算し、商品在庫は変動させません
商品値引	指定した商品に対しての値引きを行います
伝票値引	伝票全体における値引きを行います

返品・値引き共に税額計算の指定に従って税計算を行います。

この項目を含む明細行編集に入ると、ファンクションメニューに



F5 行挿入	カーソルがある行を下にずらして新規空白行を挿入します
F6 行削除	カーソル位置の明細行を削除します

このメニューが表示され、利用可能になります。

また、有効な明細行が入力された後に



F1 登録	売上傳票として入力された内容を登録します
F2 納品書	納品書指定に基づいて印刷を行い、同時に内容を登録します

これらのメニューが利用できます。

商品CD

商品登録で登録された商品CDを表示・入力します

商品CDにカーソルがある状態で



F3 商品検索 商品登録で登録されている商品を検索することが出来ます

F4 商品登録 商品登録画面を呼び出し、商品登録・編集を行うことが出来ます

これらのメニューが利用可能になります。

商品CDは、予め登録されている商品を利用する際は直接コードを入力するか、F3 商品検索を利用することで呼び出すことが出来ます。

また、この画面から商品登録画面を呼び出す F4 商品登録を利用することで、新規商品の登録や既存商品情報の修正を行い戻ること、続けて伝票明細入力を行うことが出来ます。

商品の取り扱いは、商品CDを入力すること無く商品名だけを入力するのみだけでも登録できます。

商品名

商品名を表示・入力します

商品コードが無くても商品名は直接入力で登録することが可能です。

入数・ケース



商品の入数・ケース数を表示・入力します

入数については、商品検索から登録されている商品を読み出した場合、入数に記載があれば反映します。

入数、ケース共に自由入力が可能です。

小数点、マイナス入力はできません。

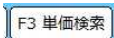
数量・販売単価

商品の販売数量・販売単価を表示・入力します

数量・単価の桁数設定は、「マスタメンテナンス」→「商品登録」での数量桁数・単価桁数に準拠します。

マイナス数値は、売上区分で売上設定の場合は利用できませんので、区分を変える必要があります。

販売単価にカーソルがある場合は、単価検索を利用することができます。



F3 単価検索 過去登録した伝票内の単価を得意先単価検索として検索できます

得意先単価検索では、表示された時点で得意先・商品が固定の過去履歴が出ますが、これらは変更可能です。

販売単価は「マスタメンテナンス」→「得意先登録」で設定した単価区分に準拠します。

販売金額

商品の販売価格を表示・入力します

それぞれ該当明細に入力されている、入数・ケース・数量・販売単価を元に計算を行います。

販売金額に必要な項目が入っていない状態で、直接金額のみを入力することも可能です。

数量や単価に小数点以下がある場合の処理は、「マスタメンテナンス」→「得意先登録」の金額端数に設定された内容に準拠します。

粗利

明細行の粗利を表示します

粗利は、該当明細行の

販売金額 - 原価金額

で計算を行います。

原価や原価金額を削除した場合、計算が自動で行われなくなります。

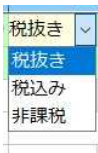
そのときは原価に0を入力することで再計算を促すことができます。

税区分

商品の税区分を表示・指定します

基本動作として、登録されている商品が呼び出されたときに、「マスタメンテナンス」→「商品登録」内で設定された税区分を自動で設定します。

該当明細行において税区分を変更したい場合は、プルダウンから



税抜き・税込み・非課税を選択することができます。

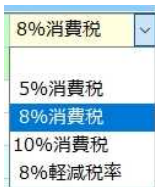
商品登録で登録されていない商品を明細に入力している際には、自動設定を行いませんので都度適切な税区分指定を行ってください。

税率

税区分に基づいた税率の設定を表示・指定します

税区分と同様に、基本は「商品登録」で登録した商品呼び出している時には、税率設定を自動で設定します。

該当明細行において税率設定を変更したい場合は、プルダウンから



5%消費税・8%消費税・10%消費税・8%軽減税率を選択することができます。

選択は、税抜き・税込みのいずれかを税区分で指定している時に限ります。

税区分同様、商品登録で登録を行っていない商品を入力している時には、自動で設定は行われませんので、都度適切な税率指定を行ってください。

倉庫

商品を入出庫する倉庫を指定します

倉庫はあらかじめ、「マスタメンテナンス」→「倉庫登録」で登録をおこなっておく必要があります。

倉庫は標準で自社倉庫しかありません。

規格

商品の規格を表示、入力します

商品の規格は直接入力することも出来ますが、この項目にカーソルがあるときは



図の様にファンクションキーから

F3 商品検索 規格から商品を検索し、明細行の商品とすることが出来ます

F4 商品登録 商品登録の画面を呼び出し、新規に商品を登録することが出来ます

これらの機能が利用できます。

サイズ

商品のサイズを表示、入力します

商品が、商品マスタから呼び出された場合は商品登録にて登録されたサイズを表示します。

商品マスタに登録が無い場合でも、直接入力することも出来ます。

但し、自動でサイズが商品マスタに登録されることはありません。

重量

商品の重量を表示、入力します

商品が、商品マスタから呼び出された場合は商品登録にて登録された重量を表示します。

商品マスタに登録が無い場合でも、直接入力することも出来ます。

但し、自動で重量が商品マスタに登録されることはありません。

重量単位

商品の重量単位を表示、入力します

商品が、商品マスタから呼び出された場合は商品登録にて登録された重量単位を表示します。

商品マスタに登録が無い場合でも、直接入力することも出来ます。

商品登録で過去登録された、または過去に売上入力で使用された重量単位をプルダウンで選択が可能です。

但し、自動で重量単位が商品マスタに登録されることはありません。

単位

商品の単位を表示、入力します

商品が、商品マスタから呼び出された場合は商品登録にて登録された単位を表示します。

商品マスタに登録が無い場合でも、直接入力することも出来ます。

商品登録で過去登録された、または過去に売上入力で使用された単位をプルダウンで選択が可能です。

但し、自動で単位が商品マスタに登録されることはありません。

在庫数

登録されている商品が呼び出された時点の在庫数を表示します

登録された伝票を呼び出した時は、その伝票を登録した時点での在庫数を表示します。

在庫数の増減は、伝票の日付順に処理されるわけではなく、登録された伝票順で計算されます。

これは、登録された伝票順に在庫から確保するという事を考えているからです。

原価

商品原価を表示、入力します

登録された商品を読み出すと、商品マスタに登録されている仕入単価が表示され、在庫単価が存在するときは、在庫単価が優先で利用されます。

直接金額を入力することもできます。

表示された金額を変更、または新規入力しても商品マスタには影響しません。

原価金額

原価金額を表示します

原価金額は、原価×数量となります。

原価金額は、原価が入力されていなくても直接入力することも可能です。

受注数

受注残数を表示します

受注入力で登録された受注伝票を受注Noにて参照した場合、受注入力で登録された内容が全て転記されます。

このときに各明細行に登録された受注数の残数を、ここに表示します。

備考

該当明細行における備考を表示、入力します

備考欄における入力可能文字数は全角20文字迄です。

摘要 CD・摘要

摘要

登録する伝票の摘要を表示、入力します

摘要 CD は、「マスタメンテナンス」→「汎用コード名称登録」にて、対象が適用になっている状態で登録されている場合に、直接コード入力か検索で呼び出して指定します。

この項目にカーソルがあるときには

F3 摘要検索 「汎用コード名称登録」で登録されている内容を検索する事ができます

F4 摘要登録 「汎用コード名称登録」を呼び出して追加登録することが出来ます

が新たに利用可能になります。

摘要 CD にコードが指定された場合、登録された内容が摘要に表示されますが、摘要 CD に何も入力すること無く直接、摘要に内容を入力することも可能です。

伝票金額合計

小計	5,000	粗利計	750	率	15 %
消費税	500				
合計	5,500				

登録されている伝票の合計金額等を表示します

入力された明細行、もしくは伝票を呼び出した時は登録されている伝票の金額等を表示します。

- ・小計 登録されている明細行の売上額合計です
- ・消費税 明細行税区分と税率に従って計算された外税分合計金額を表示します
- ・合計 小計と消費税を合計した金額を表示します
- ・粗利計 登録されている明細行の粗利額合計です
- ・率 小計における粗利計の割合、粗利率を表示します
計算式は $\text{粗利計} \div \text{小計}$ となります